

千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222)7207 番

No.

91.4.26 No. 3986

夏季物販運動の成功を!



中野委員長の「概文」

オルグ体制を固めて全国へ!

四月二十二日、動労千葉協販部は、動力車会館において、各支部の物販担当者を含め二十九名の出席のもと、94年夏季物販担当者会議を開催し、全国オルグへ向けて意志統一をはかった。まず、中野委員長より「全国へはばたこう。そして、この物販運動をとって動労千葉と共に闘う共闘の輪を全国に広げ、全国労組交流センターを拡大し、連合路線を打ち破って、闘う労働運動を創りあげよう。そのためには、まず地元の千葉をきちんとオルグしよう」という檄が発せられた。

続いて、白井協販部長より各支部に対して「すでに二百日を超える多くのオルグ要請がきている。これに添えて各支部のオルグ体制を固めて全国に打って出よう」と訴えた。

会議終了後、懇親会に移り、物販運動のますますの発展と、組織拡大を勝ち取るために全組合員一丸となって全国へ打って出ることを確認し、中野委員長の「この夏季物販を成功させるために団結力ンパロー。」で物販会議は終了した。

4/21 出向者協議会 第二回総会開催

四月二一日、千葉市において出向者協議会第二回総会が開催された。総会には、出向者、支部代表、本部役員二二名が集まり、成功裡に終了した。

総会は、まず本部布施副委員長の経過報告ならびに今後の方針を受け、続いて武井明道会長のあいさつをうけた。

武井会長は、「出向者の現状にぜひ目を向けてほしい。それぞれ大変な労働条件のなかで働いている。特に五五才以上の賃金の減額は深刻だ。やはり闘う労働組合が

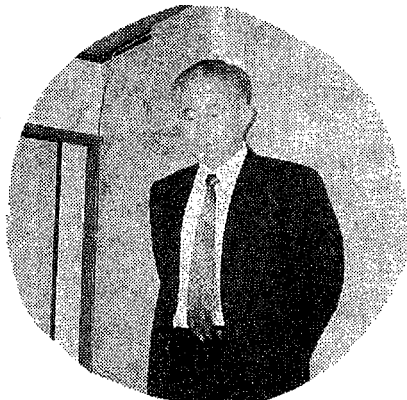
必要だ。私は、動労千葉組合員で本当によかった。職場の経験を生かしながらしぶとく闘う」と出向先の職場での経験をも含め、闘う組合の必要性を訴えた。

続いて懇親会に入り、乾杯の後参加者全員の自己紹介を行った。自己紹介ではそれぞれ出向先での苦闘もまじえユニークな報告がなされた。

出向者協議会は、今後も結成の目的(後述)を貫徹するため、当面一〇月に懇談会を持つことを決定し終了した。



出向者協議会結成の目的
出向させられても労働者であり、権利と労働条件を守るためには団結が必要である。われわれは、出向者同士の情報交換、連絡・調整を自主的に出来る体制を整え、親睦を深めることを通して、動労千葉の基本である「六〇才まで働ける労働条件の確立」へ向けて闘う。



あいさつする武井会長

訂正

日刊三九八三号

第一五回サークル協議会総会の報告で、新役員体制の一覧表上、左記の運営委員の方の名前が欠落していました。訂正致します。

運営委員 石川 義雄 京葉